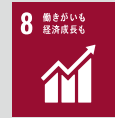


## 第4章

# 島の特色を活かした産業の振興、 多彩な交流・活力にあふれる宮古<sup>みや〜く</sup>

# 1

## 雇用を創出する産業振興



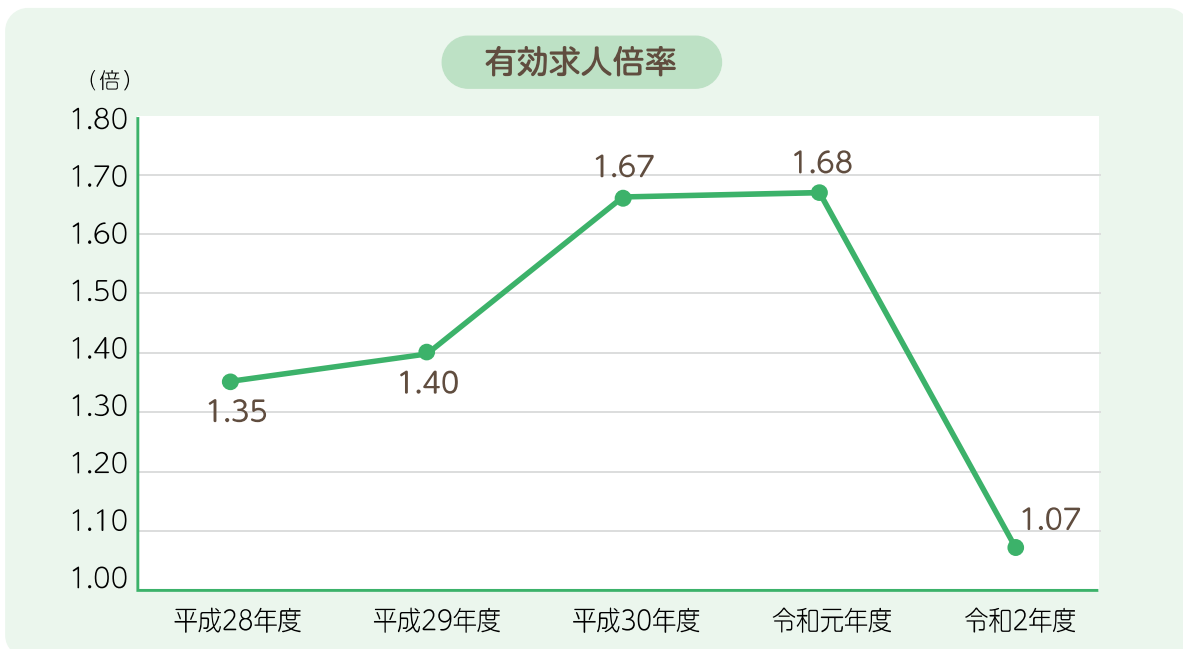
### ■ 現状と課題

▶ 高校卒業予定者における求人数の増加などもあり本市の雇用情勢は改善傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による観光客の減少等から雇用状況は悪化しています。そのため、各年代層に応じた対策や地元事業者と連携した雇用創出の仕組みづくり等、各支援制度の強化等による雇用の回復が必要です。

▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大によるテレワークの普及など、働き方の多様性が進展するなか、本市においてもICTを活用した関係人口の創出や新たな産業振興に取り組む必要があります。



企業合同説明会



### 用語解説

**テレワーク** ICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

**関係人口** 移住した「定住人口」でもなく、観光で来た「交流人口」でもない地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

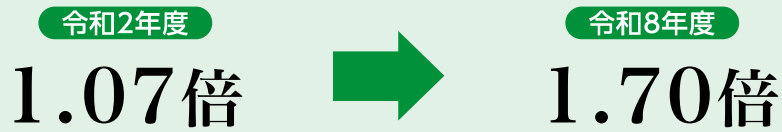


## ■ 施策の基本方針 1

総合的な雇用対策を推進し、多様な雇用の創出に取り組みます。

### ●目標項目●

有効求人倍率



### ●施策一覧●

- ①各年代層への求人とマッチングによる雇用環境の改善
- ②人材育成による観光産業に寄与する雇用の創出
- ③地元事業者や団体等が連携した雇用創出の仕組みづくり
- ④産官学連携による観光人材育成の推進
- ⑤関係団体と連携した創業支援制度の強化・検討
- ⑥デジタル活用による教育プログラムなどの導入

## ■ 施策の基本方針 2



情報通信技術（ICT）を活用した新たな産業振興に努めます。

### ●目標項目●

宮古島 ICT 交流センター利用者数

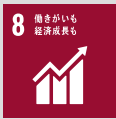


### ●施策一覧●

- ① ICTを活用した関係人口の創出による新たな雇用の促進

# 2

## 島の発展を支える農林水産業の振興



### 2-1 農林業の振興

#### ■ 現状と課題

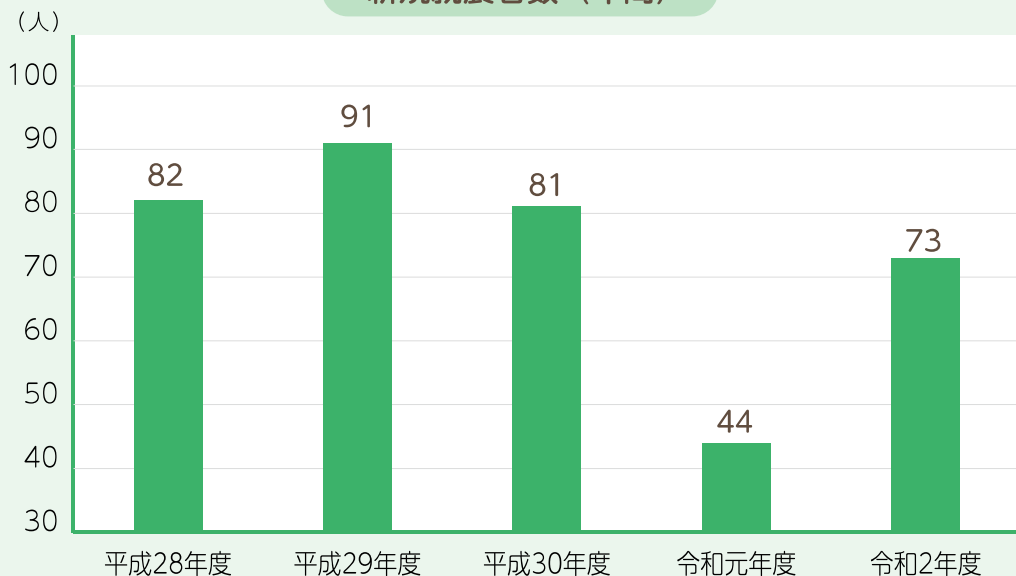
▶本市の令和2年度農業生産額は約164億と増加傾向にありますが、高齢化の進行、農業従事者の減少、流通条件の不利性による輸送コストなど多くの課題を抱えています。今後も持続可能な農業経営を展開していくためには、農地の確保や農業従事者の育成、流通の対策等が必要です。

▶本市では、多様な農産物が生産されている一方で、市内で消費される野菜等の多くは市外から調達されており、自給率の低下や経済流出につながっています。そのため、6次産業化等による地元農産物の加工・流通を推進する等、地産地消の拡大が必要です。



農業従事者の育成

新規就農者数（年間）



#### 用語解説

**6次産業化** 1次産業としての農林水産業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業の総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組



## ■ 施策の基本方針 1

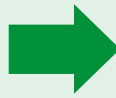
農産物の振興発展のため、農地の確保及び集積、担い手となる農業者の育成・維持確保、他産業と連携した流通対策等を推進します。

### ●目標項目●

新規就農者数（年間）

令和2年度

73人



令和8年度

77人

### ●施策一覧●

- ① 離島の流通条件不利性の解消
- ② 地元農産物のPR及び販売促進活動の推進
- ③ 認定農業者及び認定新規就農者の育成・確保
- ④ 農業後継者の増加に向けた、定年帰農就農者の確保
- ⑤ 農業経営体による障がい者の雇用促進
- ⑥ 荒廃した農地の再生及び集積の推進
- ⑦ 農業経営体の育成及び個別経営体の法人化の推進

## ■ 施策の基本方針 2



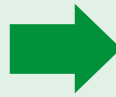
地元農水産物の加工・流通の取り組みを通じて、市内で消費する食料の地産地消を進めることにより、地域内の経済循環と生産者の所得向上への支援に取り組みます。

### ●目標項目●

学校給食における地産食材利用率

令和2年度

11.1%



令和8年度

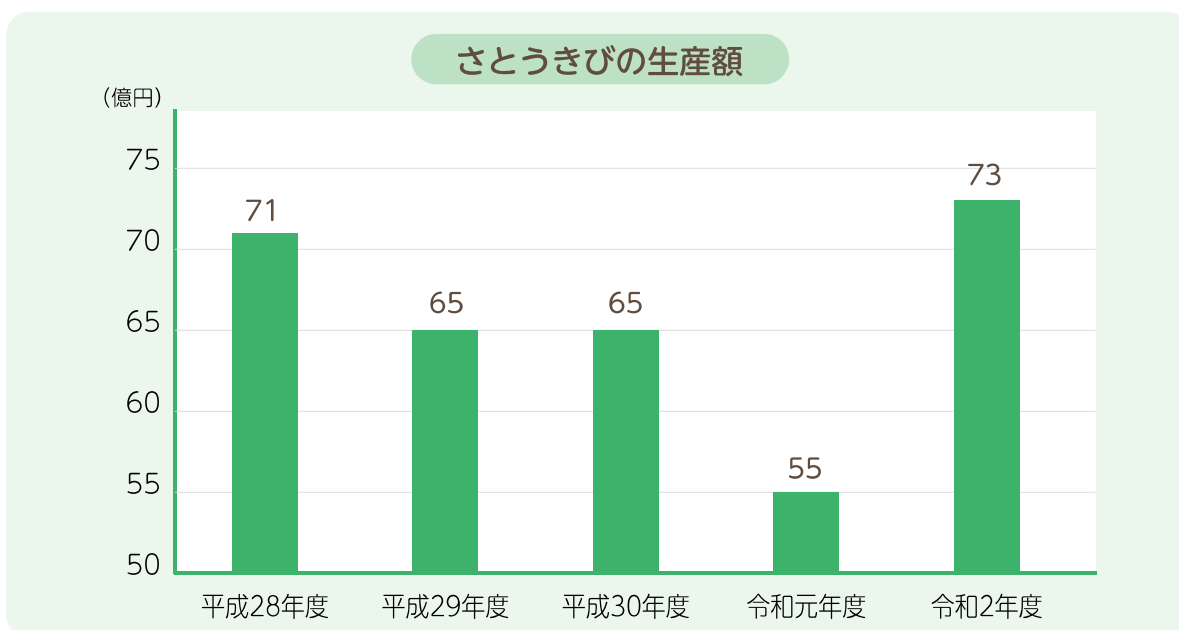
25.0%

### ●施策一覧●

- ① 農林水産業と他産業の連携や6次産業化による市内での加工・流通を通じた経済循環の促進
- ② 学校給食や飲食店等と連携した地産地消による地元農水産物の消費拡大
- ③ 地域経済の実態把握や課題共有、プロジェクト立案に繋げる仕組みの構築

## ■ 現状と課題 2

▶本市の基幹作物である、さとうきびの令和2年度生産額は73億円であり、県内で最高額となっています。一方で、高齢化による労働力不足、害虫等による被害、連作による反収減少など、生産における様々な課題を有しています。そのため、機械化による農作業の効率化、優良種苗の導入、害虫等の防除などにより生産性と所得を向上させ、基幹作物として持続する基盤づくりへ取り組む必要があります。



機械化（ハーベスタ）作業



ドローンによる農薬散布

### 用語解説

- トラッシュ** 製糖工場に搬入されたさとうきびの原料にならない部分の総称
- バガス** さとうきびを搾汁した後の残り(しぼりかす)



## ■ 施策の基本方針

J Aや製糖会社など関係機関と連携を図り、基幹作物であるさとうきびの生産体制を強化し、農家の生産性と所得の向上を図ります。

### ●目標項目●

さとうきびの生産額



### ●施策一覧●

- ① 早期の株出し栽培や春植・夏植の推進によるさとうきびの増産
- ② 優良種苗の増殖、優良品種の普及によるさとうきびの生産性向上
- ③ 担い手への農地の集約集積による耕作放棄地等の解消
- ④ 農作業の機械化一貫体系の確立・普及
- ⑤ さとうきび病害虫の適期防除及び野鼠(ヤソ)防除の推進
- ⑥ トラッシュやバガスの農地還元、有機質肥料の活用、緑肥すき込み等による地力増進
- ⑦ 有機肥料や緩効性肥料の活用による環境に優しい農業の推進

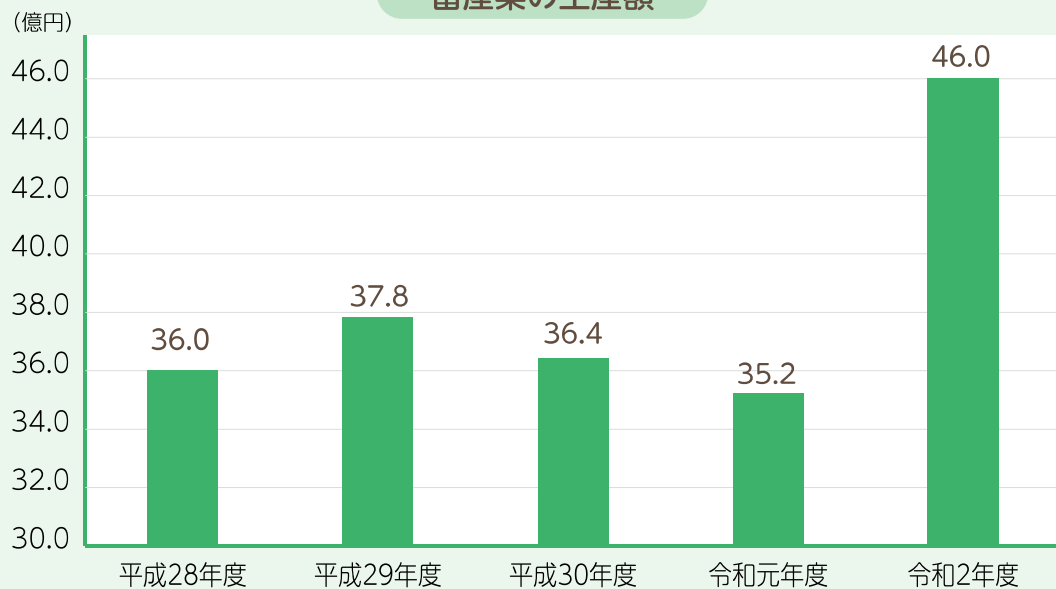


さとうきび畑

### ■ 現状と課題 3

▶本市の畜産は、高齢化の進行による離農などによって、飼育頭数や農家数が減少していることから、担い手の育成・確保が急務となっています。また、高品質の飼料の確保や育種価の高い子牛の生産、養豚における食品残渣利用からの切り替え、養鶏における悪性伝染病の侵入防止など、生産における環境の改善や基盤の強化が必要です。

畜産業の生産額



牛舎の様子

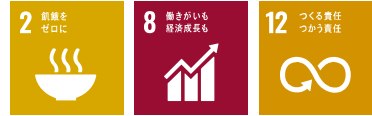


初競り（1月）

#### 用語解説

**法定伝染病** 家畜伝染病として定められている疾病。口蹄疫や、豚コレラ、鳥インフルエンザなど



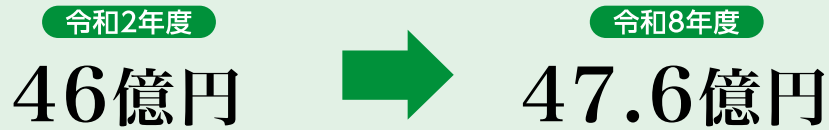


## ■ 施策の基本方針

持続可能な畜産業の振興に向け、生産基盤の強化、生産者の所得向上を図るとともに飼養管理技術の推進に取り組みます。

### ●目標項目●

#### 畜産業の生産額



### ●施策一覧●

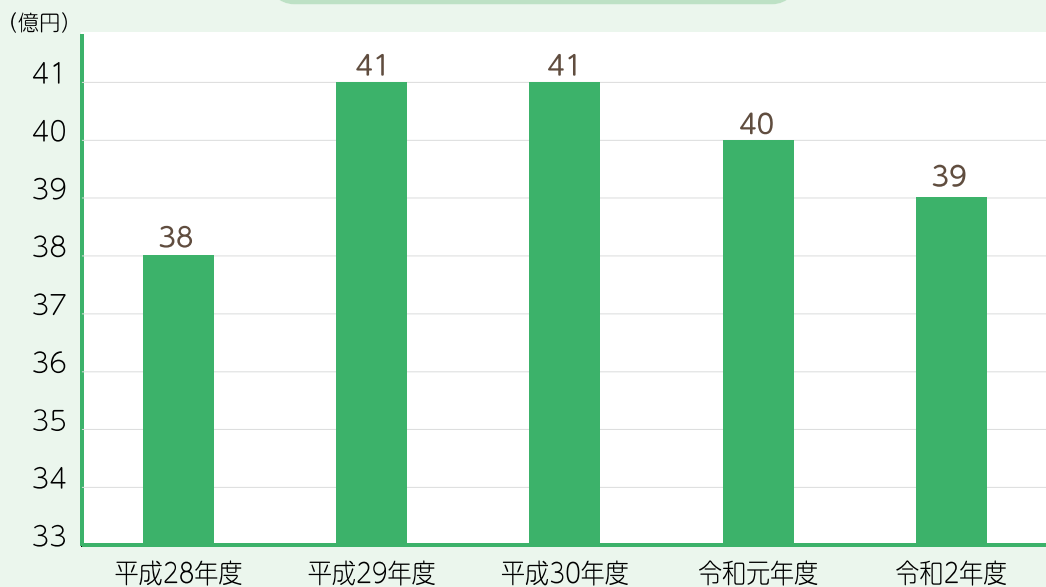
- ①投資効率化による担い手の確保・育成
- ②畜産物の生産コストの低減化
- ③品質の高い畜産物の生産向上や消費拡大の推進
- ④飼養管理を請け負うコントラクターやヘルパー等の充実による高品質飼料の確保
- ⑤計画交配による育種価の高い子牛生産の推進
- ⑥経産牛肉の付加価値向上
- ⑦県内外への販路開拓や地産地消によるブランド牛の強化
- ⑧食品残渣から配合飼料への切替による飼養管理技術の向上及び「宮古ブランド肉豚」の創設
- ⑨鶏卵の島内消費の推進による生産安定化
- ⑩法定伝染病の侵入防止対策の強化
- ⑪家畜排泄物の適正な管理に向けた法令の遵守と処理技術の普及

## ■ 現状と課題 4

▶本市では、ゴーヤー、とうがん、マンゴーなど、これまで認定された拠点産地品目に加えて、平成31年に「さやいんげん」、令和2年に「かんしょ」が新たに追加されるとともに、本土の端境期を狙った出荷等も行われており、生産の多様化が進んでいます。一方で、農家間で単収や品質に差が見られることから、今後は生産農家の安定経営と栽培技術の高位平準化による生産拡大と併せた品質向上に取り組む必要があります。

葉たばこについては、国の政策により、他作物への転換が進められていることから、転作を希望する農家を支援していく必要があります。

野菜・果樹・葉たばこの生産額



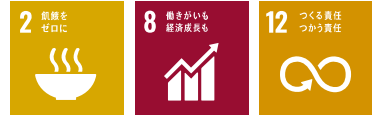
マンゴーの栽培



葉たばこの栽培

### 用語解説

**拠点産地品目** 産地の生産体制など一定の条件を満たし、その特性を活かせるものとして県が認証する品目

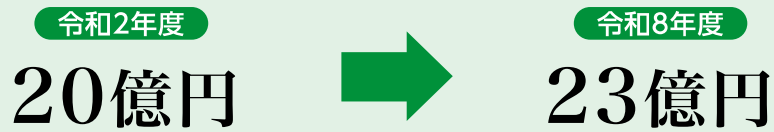


## ■ 施策の基本方針

拠点産地品目の生産拡大及び産地形成を図るとともに、野菜・果樹の生産振興や葉たばこの生産支援に取り組みます。

### ●目標項目●

野菜・果樹等の生産額



### ●施策一覧●

- ①拠点産地品目の安定生産に向けた、関係機関との連携による情報共有・技術習得
- ②新たな拠点産地品目の認定へ向けた取り組みの推進
- ③収益性・安定性のある持続可能な農業経営、農産物の定時・定量・定品質による生産体制の推進
- ④葉たばこ農家への支援及び廃作農家における他作物への転作促進



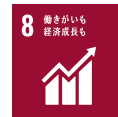
野菜初荷式



さやいんげん

## ■ 現状と課題 5

▶本市の林業は、イヌマキ等の木材生産に向けた造林事業の取り組みが進められる一方で、特用林産物の生産額は、年々減少しています。そのことから、生産者の確保に取り組むとともに、木材の安定的な生産に向け、新たな造林事業を計画的に行う必要があります。



## ■ 施策の基本方針

特用林産物の生産経営安定を図るとともに、イヌマキ等の良質な木材生産の取り組みを推進します。

### ● 目標項目 ●

林業の生産額

令和2年度

188万円



令和8年度

296万円

### ● 施策一覧 ●

- ①特用林作物の生産に向けた取り組みの推進
- ②イヌマキ等の良質な木材の安定生産に向けた取り組みの推進

## 用語解説

### 特用林作物

きのこ類、山菜類などの森林原野を起源とする生産物のうち、一般の木材を除くもの

**畑地かんがい施設** 農業に用いる水を畑に散水する施設。スプリンクラーなど

## ■ 現状と課題 6

▶本市の農地は、全体として不整形地が多いことに加え、干ばつの影響を受けやすく土地生産性が低いことから、さとうきびの反収増加や高収益作物への転換のため、農地の基盤整備や畑地かんがい施設整備を進めています。今後も計画的な農地・施設整備による収益性の高い農業経営の推進が必要です。

各施設の維持管理は、これまで農業者と地元自治会が中心となり行っていますが、今後は、農業者だけでなく、地域住民等が参加できる体制を構築して、農地を維持・保全する活動に取り組む必要があります。

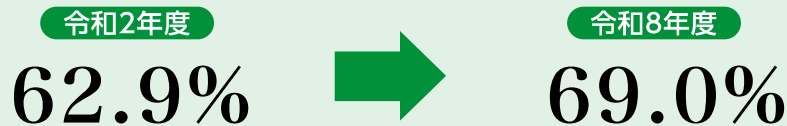


## ■ 施策の基本方針

収量・品質が安定した収益性の高い農業経営の実現に向けて、継続的に農地基盤整備を推進します。

### ●目標項目●

ほ場整備率



### ●施策一覧●

- ①ほ場や畑地かんがい施設等、農業生産基盤の計画的な整備
- ②農業用水の確保や散水面積の拡大及び適切な使用の啓発
- ③住民、農業者、自治会が共同参加する維持管理活動の実施
- ④農地防風林の維持管理及び拡充
- ⑤受益者による自発的な育林活動の啓発
- ⑥下地島農業利用ゾーンにおける農地整備の早期導入の推進

## 2-2 水産業の振興

### ■ 現状と課題

▶本市の水産業は、漁船漁業や養殖業など多様な形態が展開されていますが、水産資源の減少や離島の不利性から生じる輸送コストなどに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による鮮魚取引の落ち込みなどの問題を抱えています。今後は、水産資源の回復や流通の対策、漁港施設の計画的な整備など、生産基盤の強化を図るとともに、生産効率の向上や加工品づくりの推進等による漁業所得の向上を図る必要があります。

各漁業協同組合への新規加入の申請は増加傾向にあることから、今後も新規就業者の確保に向けた情報発信等により漁業者を増やす取り組みが必要です。また、水産振興の基盤となる漁業協同組合の機能強化へ向けた統合への取り組みや組合員同士の交流を促進する必要があります。



カツオ漁の様子

### 漁業の生産額



### 用語解説

#### 沖縄県漁業調整規則

沖縄県内における水産資源の保護や漁業生産力の向上のため、禁漁の時期や漁獲物の大きさ等を定めた規則

#### 指導漁業士

優れた漁業経営を行い、指導的役割を果たしている中核的な漁業者

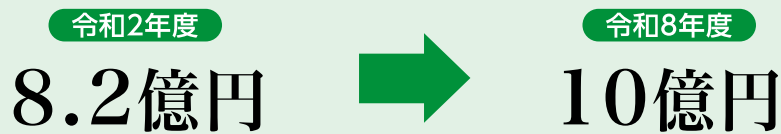


## ■ 施策の基本方針

漁業生産額の向上と経営の安定化を目指し、水産資源の保全・回復、水産業の多角化等の取り組みを促進し、地域特性を活かした持続可能で儲かる漁業の推進を図ります。

### ●目標項目●

#### 漁業の生産額



### ●施策一覧●

- ① 沖縄県漁業調整規則等の遵守・徹底や本市の海域に適した資源保全地域の設定による水産資源の適正管理
- ② 種苗生産・育成・放流活動による水産資源の保全・回復
- ③ 収益性が高い漁業の取り組みによる生産効率の向上
- ④ 集出荷体制の効率化や流通経費の支援など生産・流通体制の改善によるコストの縮減
- ⑤ 地域特性を活かした加工品づくりによる魅力ある水産ブランド品の創出
- ⑥ 就業者の確保・定着に向けた水産業の情報提供
- ⑦ 指導漁業士・青年漁業士の認定や漁業集落の活動促進
- ⑧ 漁港施設の計画的な整備や既存施設の効率的な機能保全に向けた長寿命化の推進
- ⑨ 【再掲】農林水産業と他産業の連携や6次産業化による市内での加工・流通を通じた経済循環の促進
- ⑩ 水産業の特色を知ることができる体験学習機会の創出
- ⑪ 販売・加工品等の拠点施設整備による水産物の地域内消費の増加
- ⑫ 漁業協同組合の統合に対する取り組みの促進
- ⑬ 技術向上に向けた漁業協同組合員が交流・連携できる体制づくり

# 3

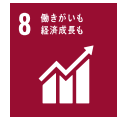
## 魅力ある商工業の振興



### ■ 現状と課題

- ▶ 市民の生活スタイルや、日常的な買い物に対するニーズが変化し、公設市場周辺など一部の商業地では人出が減少しています。そのため、商業地の有効的な活用による集客力の向上に取り組む必要があります。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大による観光客の大幅な減少や事業者への休業要請などにより、本市の商工業は大きな影響を受けています。そのため、事業者の経営安定化をサポートする支援体制の強化が必要です。
- ▶ 伊良部大橋橋詰広場観光拠点施設の供用開始により、地場産品の地域内消費が促進されるとともに、ふるさと納税における寄附額が年々増加するなど、本市の特産品提供の機会は拡大しています。今後も、地場産業の活性化に向けて特産品の活用促進や開発に取り組む必要があります。
- ▶ 宮古上布の関連商品は、近年、インターネット販売の開始により需要が増加している一方、生産が追いついていない状況にあります。今後は、原材料の確保や技術者の育成により宮古上布の安定生産や体験販売施設の整備など更なる販売促進が必要です。
- ▶ 本市のエコアイランドの取り組みに関する視察者は増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症により視察を停止する状況となっています。今後は視察者数の回復に向け再生可能エネルギーの活用やエコアイランドのブランド化を図る必要があります。



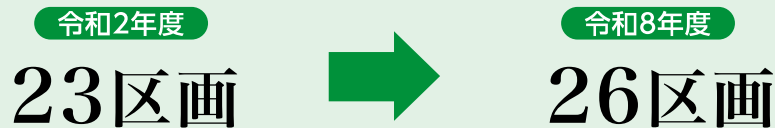


## ■ 施策の基本方針 1

集客力のある商業地の形成を図ります。

### ●目標項目●

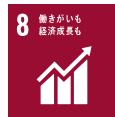
公設市場の入居者数



### ●施策一覧●

- ①地元特産品の即売会等のイベント開催による公設市場の活用促進
- ②観光客や市民の誘客による市場通りなど中心市街地の活性化

## ■ 施策の基本方針 2



地元生産品の販路開拓・拡大を図るため事業者の経営基盤の強化に向けた支援に取り組みます。

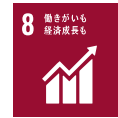
### ●目標項目●

経営基盤強化セミナーの利用満足度



### ●施策一覧●

- ①事業者に対する相談活動の充実及び各種制度の活用促進
- ②各感染症対策と経済再生をリンクさせた支援体制の強化



### ■ 施策の基本方針 3

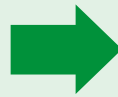
地場産業の活性化に向け、産業間の連携や地元農水産物の活用促進、特産品の知名度向上に取り組みます

#### ●目標項目●

ふるさと納税寄附額

令和2年度

5.3億円



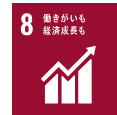
令和8年度

8.3億円

#### ●施策一覧●

- ① 島外への市内物産のPR及び販売促進
- ② 【再掲】農林水産業と他産業の連携や6次産業化による市内での加工・流通を通じた経済循環の促進
- ③ ふるさと納税事業を活用した特産品の周知

### ■ 施策の基本方針 4



「宮古上布」の安定生産を図るとともにPR及び新たな販売促進に取り組みます。

#### ●目標項目●

宮古上布の生産販売数（年間）

令和2年度

6反



令和8年度

10反

#### ●施策一覧●

- ① 苧麻糸（原材料）の確保及び技術者の育成
- ② 生産振興に向けた周知イベント等の開催
- ③ 販売促進に向けた体験販売施設の整備



## ■ 施策の基本方針 5

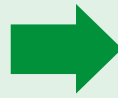
再生可能エネルギーの最大限導入及びエコアイランドのブランド化を通じた産業振興と地域経済循環を促進します。

### ● 目標項目 ●

エコアイランドの取組視察者（島外）

令和元年度※

795人



令和8年度

1,000人

※新型コロナウイルスの影響により  
令和元年度で設定

### ● 施策一覧 ●

- ①再生可能エネルギー最大限導入による新事業の創出とエネルギー調達に係る地域経済循環の促進
- ②エコアイランドのブランド化を通じた視察やインセンティブツアー、学会等の誘致



宮古上布など使用した特産品

### 用語解説

インセンティブツアー 企業の社員旅行等で特別な体験を提供するなどの報奨旅行のこと

# 4

## 地域の特性を活かした観光産業の振興



### ■ 現状と課題

▶本市では、美しい自然環境を活かした積極的な誘客活動の展開と受入体制の強化により、入域観光客の満足度は69.8%と比較的高い数値となっていますが、観光需要の増大によるオーバーツーリズムなど、自然環境への影響が懸念されています。そのため、地域資源の保全を踏まえた魅力ある観光地の形成に取り組む必要があります。

▶全世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による航空便の減便や海外クルーズの寄港停止の影響から、本市の入域観光客数は大幅に減少しています。一方で、コロナ禍においても富裕層を対象としたハイクラスなホテルが整備されています。今後は、新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要を見据え、環境負荷に配慮しながら量から質へ転換した観光客受入の環境整備やMICEの誘致、観光人材の育成などに取り組む必要があります。



クルーズ客船寄港の様子

### 用語解説

#### オーバー ツーリズム

観光地において、訪問客の著しい増加等により地域住民の生活や自然環境に負荷が大きくかかる等の状況

#### MICE

Meeting: 企業等の会議  
 Incentive Travel: 企業等の行う報奨・研修旅行  
 Conference/Convention: 国際機関、団体、学会等が行う国際会議  
 Exhibition/Event: 展示会・見本市、イベント

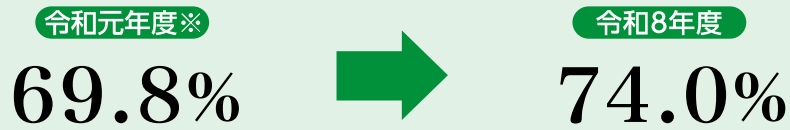


## ■ 施策の基本方針 1

本市の美しい海や自然景観などの貴重な観光資源を保全し、誰もが気持ちよく訪れることのできる魅力ある持続可能な観光地の形成に努めます。

### ●目標項目●

#### 入域観光客の満足度



※新型コロナウイルスの影響により  
令和元年度で設定

### ●施策一覧●

- ①持続可能な観光地づくりに向けた豊富な地域資源の美化・環境保全
- ②「エコアイランド・スポーツアイランド」にふさわしい観光の推進
- ③地域住民に配慮した観光地及び地域特有の史跡・芸能を活用した観光振興
- ④「八重干瀬」とその周辺地域の保全及び活用を目指すための自然環境調査の実施と保全体制構築



東平安名崎



## ■ 施策の基本方針 2

多様化する観光客のニーズを的確に把握し、国際化に対応した人材育成や受入環境整備を図るとともに、SDGsを踏まえた観光地づくりを推進します。

### ● 目標項目 ●

#### 観光消費額

令和元年度※ **636.3億円** → **807.8億円** 令和8年度

※新型コロナウイルスの影響により  
令和元年度で設定

### ● 施策一覧 ●

- ① 農林水産業と連携した体験滞在型観光及び民泊や教育旅行等の推進
- ② 体験型観光施設における、多様化する観光客に対応可能な商品の開発
- ③ 観光サイト、SNS等の活用による誘客促進に向けた戦略的な情報発信
- ④ 高等教育機関との連携による観光人材の育成・確保
- ⑤ 外国人観光客の受入体制の強化
- ⑥ 海岸利用のルールづくり及び海水浴場の設置
- ⑦ 官民が連携した観光課題の解決による持続可能な観光地づくり
- ⑧ 自然災害や感染症等の観光危機管理への対応
- ⑨ スポーツ観光交流拠点施設等を活用したMICEの受け入れの促進

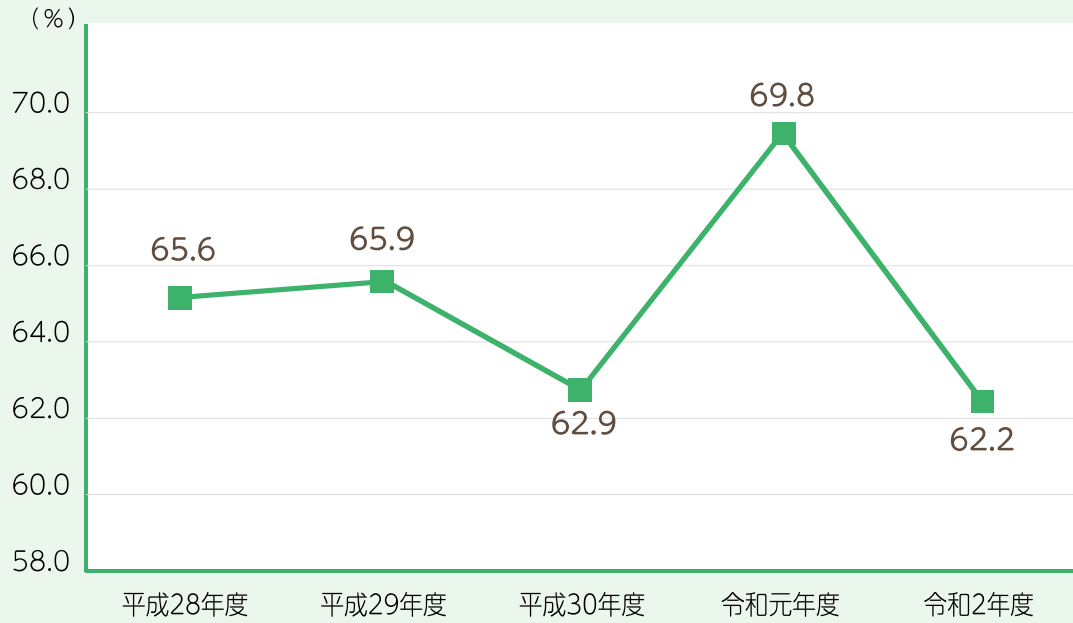
### 用語解説

**スポーツ観光交流拠点施設**

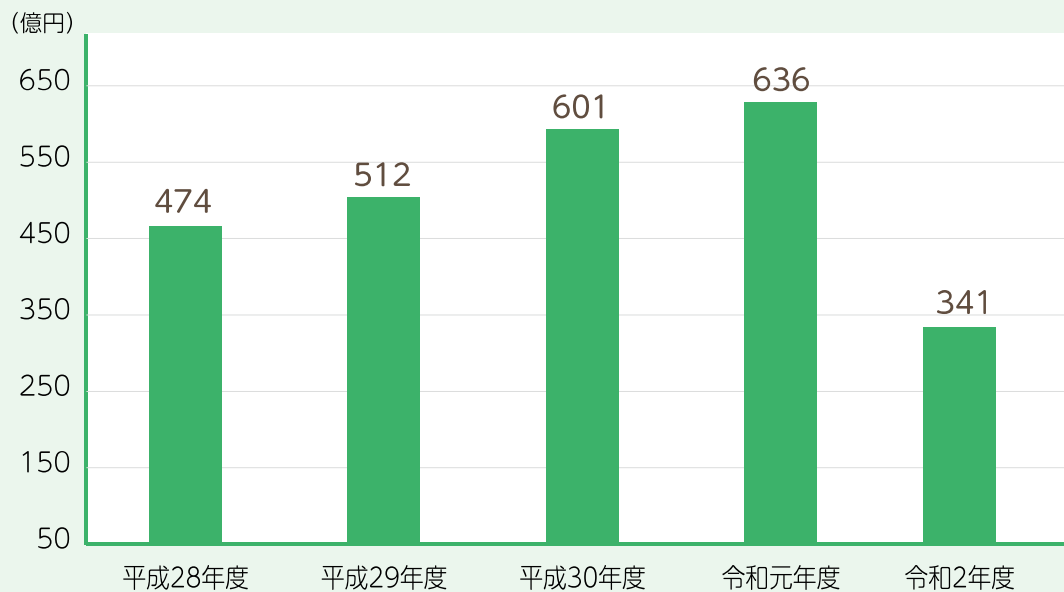
スポーツや地域の伝統文化行事を親しむことができる全天候型のドーム施設

## ■ 観光産業の関連データ ■

### 入域観光客の満足度



### 宮古島市の観光収入



# 5 スポーツアイランドの推進



## ■ 現状と課題

▶本市は、地域特性を活かしたスポーツ合宿の誘致を展開しており、伊良部地区への野球場の整備など、キャンプニーズに応じた受入環境の整備が進められていますが、近年、参加団体数は減少傾向にあります。そのため、官民が連携を強化した誘致やスポーツ施設の有効活用による受入環境の充実に取り組む必要があります。

▶全日本トライアスロン宮古島大会をはじめとした、各種スポーツイベントの開催による交流人口の増加に取り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大により、近年、イベントの中止を余儀なくされています。今後は、各種イベントの再開及び参加者の増加に向けた取り組みが必要です。

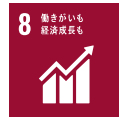


全日本トライアスロン宮古島大会

### スポーツ合宿誘致団体数







## ■ 施策の基本方針 1

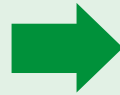
本市の特性を活かしたスポーツ合宿の誘致を図ります。

### ●目標項目●

スポーツ合宿誘致団体数

令和元年度※

25団体



令和8年度

40団体

※新型コロナウイルスの影響により  
令和元年度で設定

### ●施策一覧●

- ①スポーツコンベンション推進協議会の組織体制強化
- ②官民が連携したスポーツ合宿誘致の展開
- ③スポーツ施設の計画的かつ効率的な整備及び有効活用

## ■ 施策の基本方針 2

各種スポーツイベントを通じた交流人口の拡大を図ります。

### ●目標項目●

各種スポーツ大会参加者

令和元年度※

3,784人



令和8年度

3,800人

※新型コロナウイルスの影響により  
令和元年度で設定

### ●施策一覧●

- ①全日本トライアスロン宮古島大会をはじめとするスポーツイベントの充実
- ②イベント参加者の増加に向けたインターネット等の利活用による情報発信

## 6

## 多彩な交流を促進する 港と空港の機能強化



### ■ 現状と課題

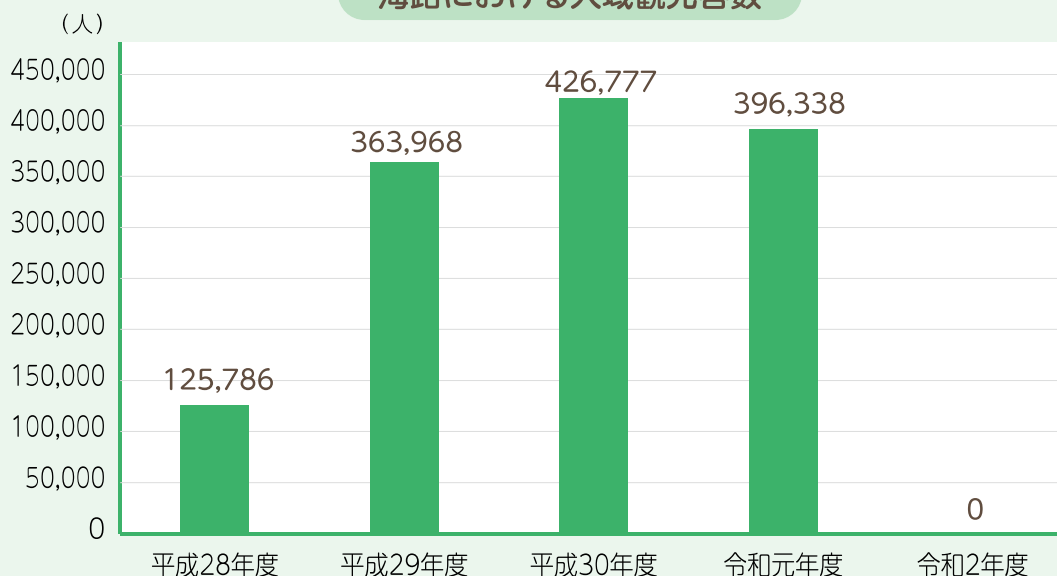
▶平良港では、安全かつ円滑な荷さばきが可能となるよう耐震岸壁の運用開始や緊急物資の受入に対応できる埠頭用地の拡張整備などを進めています。今後も物流・交流拠点としての港湾機能の強化や災害時に対応した港湾施設の整備が必要です。

▶令和2年にクルーズ客船専用バス及びターミナルが完成しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ客船の寄港が停止しています。今後は、再開に向けた官民連携による受入環境の強化が必要です。



平良港総合物流センター

### 海路における入域観光客数



#### 用語解説

**インバウンド** 外国人が訪れてくる旅行のこと

**フライ&クルーズ** 飛行機(フライ)と船(クルーズ)を組み合わせる旅行

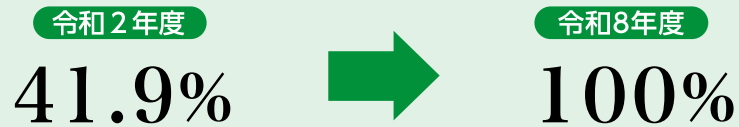


## ■ 施策の基本方針 1

宮古圏域の物流や交流の拠点となる、港湾機能の強化に向けた施設整備に取り組みます。

### ●目標項目●

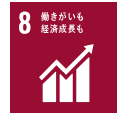
#### 港湾施設整備率



### ●施策一覧●

- ① 港湾整備事業の推進による港湾機能の強化
- ② 大規模災害時と船舶の大型化に対応した港湾施設整備の推進
- ③ 平良港および背後市街地を含むみなとまちづくりの推進
- ④ 小型船だまり及び港湾関連用地の整備の推進

## ■ 施策の基本方針 2



クルーズ客船の拠点港としてインバウンドに対応した受入の強化を図るとともに、地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地づくりを目指します。

### ●目標項目●

#### クルーズ客船観光客の消費額



※新型コロナウイルスの影響により  
令和元年度で設定

### ●施策一覧●

- ① クルーズ客船拠点港の形成に向けた官民連携による受入環境の充実
- ② 地元製品の消費拡大及び地域経済に寄与するクルーズ観光の推進
- ③ 観光消費額の増加につながるフライ＆クルーズの促進

## ■ 現状と課題 2

▶宮古空港は、観光需要の増加に伴い大型機を駐機するスペースの確保や空港ターミナルの座席数も増やされ、交通拠点としての機能が拡充されています。今後も沖縄県との連携による空港機能強化や安全・安心な空港施設の維持管理を図る必要があります。

▶下地島空港は、平成 31 年にみやこ下地島空港ターミナルの供用が開始され、国内空港への定期便就航とともに本市初の国際定期便が就航するなど、観光客の多様化に繋がっています。また、観光ピーク時や台風時に発生する滞貨問題を解消するため、農水産物輸送へ向けた貨物取扱の実証を行っています。今後も、観光産業及び農林水産業の振興に向けて、下地島空港及び周辺用地の有効活用を推進する必要があります。

空路における入域観光客数



みやこ下地島空港ターミナル



宮古空港ターミナル



## ■ 施策の基本方針 1

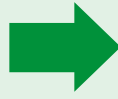
空港利用者を事故や災害から守るため、安全・安心な空港施設の維持管理に努めます。

### ●目標項目●

航空機事故、不法侵入等を想定とした訓練の充実

令和2年度

2回



令和8年度

2回以上

### ●施策一覧●

- ①航空機事故、不法侵入等を想定した訓練の実施による空港利用者の安全の確保



## ■ 施策の基本方針 2

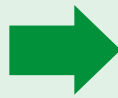
下地島空港及び周辺用地の有効利活用を積極的に推進します。

### ●目標項目●

下地島空港及び周辺用地の利活用事業の推進

令和2年度

3事業



令和8年度

5事業

### ●施策一覧●

- ①沖縄県との連携による下地島空港及び周辺用地の有効利活用の推進
- ②観光コンテンツや地域交通の充実に向けた事業実施環境の整備



下地島空港